

**令和4年度**  
**第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会**

日 時：令和4年11月18日（金）11：00～16：30  
場 所：サンセール盛岡 3階 瑞雲 ほか

**次 第**

- 1 開 会
  
- 2 議 題 （ 詳細なスケジュールは別紙のとおり ）
  - (1) 委員長等の選出について
  - (2) 「いわて環境の森整備事業（混交林誘導伐）を実施した施工地におけるアカマツ林広葉樹林化の実施について」 【資料No.1～3】
  - (3) 令和4年度いわての森林づくり推進事業の取組状況 【資料No.4】
  - (4) その他
  
- 3 閉 会

別紙

## 本日のスケジュール

### 令和4年度第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会

内容	時間	場所	備考
開会	11:00～11:10	サンセール盛岡 3階 瑞雲	
議題(1) 委員長等の選出について	11:10～11:15		
議題(2) 「いわて環境の森整備事業 (混交林誘導伐)を実施した 施工地におけるアカマツ林広 葉樹林化の実施について」	11:15～12:00		
昼食	12:00～13:00		
移動 議題(2)に係る現地調査 箇所(紫波町)へ	13:00～14:00		県の公用車で 移動
現地調査 議題(2)に係る現地調査	14:00～14:30	紫波町内	
移動 サンセール盛岡へ移動	14:30～15:30		道の駅紫波 トイレ休憩
議題(2) 質疑	15:30～15:45	サンセール盛岡 3階 瑞雲	
議題(3) 令和4年度いわての森林づ くり推進事業の取組状況	15:45～16:15		
議題(4) その他	16:15～16:25		
閉会	16:25～16:30		

# いわての森林づくり県民税事業評価委員会委員名簿

(令和4年11月18日現在)

氏名	役職名等	備考	
稲村 崇史	有限会社稲村製材所 取締役	新任	
國崎 貴嗣	岩手大学農学部 准教授	9期目	
齊藤 健吾	株式会社斎藤商事 代表取締役	新任	御欠席
佐藤 貴美子	いわての森林づくりコーディネーター	2期目	
野口 麻穂子	国立研究法人森林研究・整備機構 森林総合研究所東北支所 主任研究員	2期目	
橋浦 栄一	岩手県消費者団体連絡協議会 常任幹事	3期目	
水野 匠	岩手県商工会議所連合会 事務局長	2期目	
村中 ゆり子	盛岡市立米内幼稚園 園長	2期目	15時30分 から 御出席
吉野 英岐	岩手県立大学総合政策学部 教授	5期目	13時から 御出席
若生 和江	環境アドバイザー	9期目	12時～ 15時30分 中座

(五十音順)

1 委員 10名

2 任期 令和4年11月14日～令和6年11月13日

令和4年度 第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会 県関係出席者名簿

役 職 等	氏 名	備 考
農林水産部 技監兼林務担当技監 兼全国植樹祭推進室長	橋 本 卓 博	12時～15時30分 中座
林業振興課 技術参事兼総括課長	工 藤 亘	午前中のみ出席
技術主幹兼振興担当課長	田 村 聡	
主任主査	千 田 啓 介	12時～15時30分 中座
主任主査	澤 崎 格	
主 事	木 村 直 樹	12時～15時30分 中座
主 事	目 黒 有 紀	12時～15時30分 中座
森林整備課 主任主査	中 嶋 康	
盛岡広域振興局林務部 主査林業普及指導員	照 井 久美子	

## いわての森林づくり県民税事業評価委員会設置要綱

### (設置)

第1条 いわての森林づくり県民税条例（平成17年岩手県条例第79号）第1条に規定する森林環境の保全に関する施策（以下「施策」という。）の内容を県民に明らかにし、透明性の確保を図るため、いわての森林づくり県民税事業評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### (所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 施策を調査審議すること。
- (2) 県民参加の森林づくり促進事業に係る企画書を調査審議すること。
- (3) 施策を評価すること。
- (4) 施策に関する提言をすること。

### (組織)

第3条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験のある者その他の適当と認められる者のうちから、知事が委嘱する。

### (任期等)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。
- 3 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

### (委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選とする。

- 2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となり、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員の中から互選された者がその職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会の会議は、岩手県農林水産部長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (庶務)

第7条 委員会の庶務は、岩手県農林水産部林業振興課において処理する。

### (補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

### 附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

# 松くい虫被害及び防除について

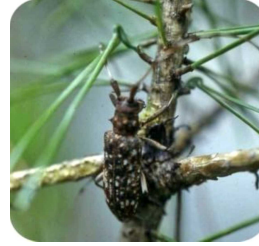
令和4年11月18日  
いわての森林づくり県民税  
事業評価委員会  
資料 No.1

## 1 松くい虫(正式名称: マツ材線虫病)について

### (1) 発病から枯死まで

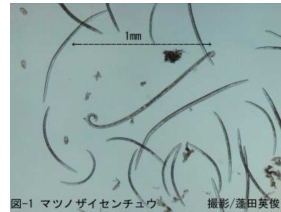
- ① マツノマダラカミキリを媒介昆虫として、マツノザイセンチュウが松に侵入すると、その部位で樹脂成分が分泌。
- ② 樹脂成分が通水組織である仮道管に分泌されると通水阻害が発生(菌類に対する防御反応)。
- ③ マツノザイセンチュウは材内を1日数10cm移動するため、各所で通水阻害が発生。
- ④ 材内各所での防御反応により通水組織等、自らの組織を破壊。
- ⑤ 樹木全体に通水組織の破壊が起こり、枯死。

#### 【マツノマダラカミキリ】



- ▶ 在来種の昆虫
- ▶ 成虫のエサはマツの若い枝
- ▶ 衰弱したマツや枯死して間もないマツに産卵して繁殖

#### 【マツノザイセンチュウ】



- ▶ 北アメリカ原産の線形動物
- ▶ 明治38年以前に国内に侵入
- ▶ エサは樹の細胞や菌類

図-1 マツノザイセンチュウ 撮影/蓬田英俊

#### 【被害形態】



- ▶ ヤニの流出が減少
- ▶ 古い葉から枯れる
- 松くい虫被害の可能性

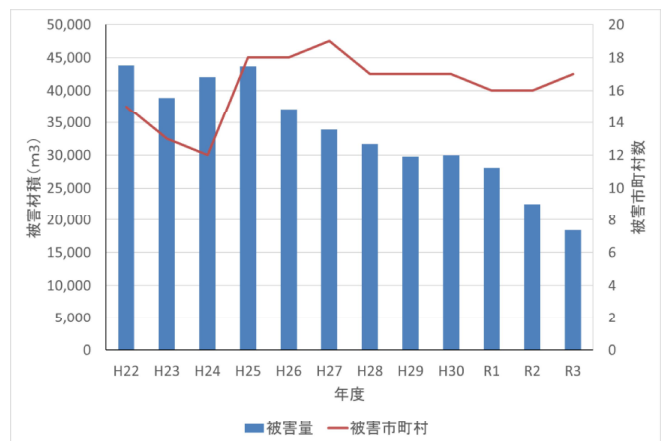
### (2) 被害形態

- ① 松ヤニの流出が少なくなる
- ② 古い葉から枯れる  
先に古い葉(2~3年目の葉)が、その後新しい葉(今年生えた葉)が色あせ

### (3) 県内の被害状況

- ① 県内は昭和54年に岩手県一関の国道沿いで被害が確認。  
※令和3年度現在、北海道、埼玉県を除く45都府県で被害。
- ② 県内の被害量は減少傾向で、令和3年度の被害量は前年比82%の18,430m<sup>3</sup>で、平成10年度以来、2万m<sup>3</sup>を下回った。(被害市町村は17)
- ③ 被害先端地域では、被害区域が拡大傾向にあるものの、花巻市、一関市、大船渡市などの被害まん延地域全体の被害量は減少。

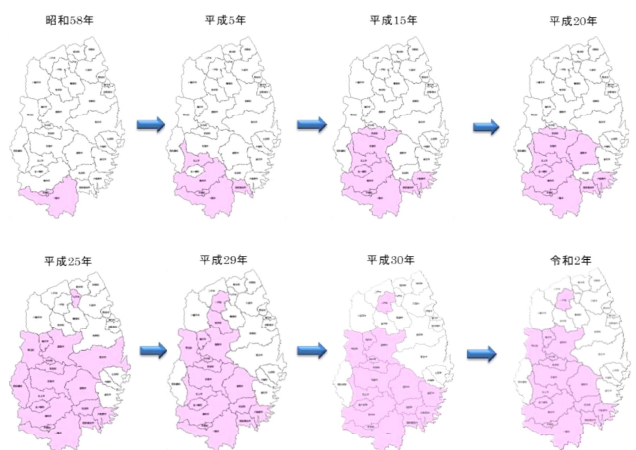
#### 【被害状況】



### (4) 松くい虫被害木の定義

- ① 松くい虫により枯死したもの
- ② 松くい虫により変容が生じたと見込まれるもの  
松くい虫による枯死木周辺で見られる針葉が変色した生立木
- ③ 松くい虫潜在被害木  
①または②の周辺で行われた松のヤニ打ち調査で滲出異常が認められた生立木

#### 【松くい虫被害発生市町村の推移】



## 2 マツ材線虫病発生のメカニズムと防除手法

松くい虫の被害発生メカニズムと防除手法

	春	夏	秋	冬	
発生メカニズム	<p>6月～7月に羽化したカミキリが線虫を体内に入れて樹体内から脱出</p>	<p>カミキリ成虫が若枝の皮を食べる(後食)時に、線虫がマツの樹体内に侵入</p>	<p>樹体内で線虫が増殖し、マツが衰弱</p>	<p>夏～秋にかけて衰弱したマツにカミキリが産卵</p>	<p>ふ化した幼虫は樹皮下で成長し、成熟した幼虫が材内の蛹室で越冬</p>
防除手法	<p>&lt;薬剤散布による防除&gt; (春～)</p> <p>羽化脱出直後のカミキリの成虫が健全なマツを後食するのを防ぐため、航空機を利用した薬剤散布や地上散布等を実施</p>	<p>&lt;伐倒駆除&gt; (秋～春)</p> <p>枯死したマツの樹体にいるカミキリの幼虫を駆除するため、羽化脱出前までに被害木を伐倒し、薬剤によるくん蒸や破碎・焼却等を実施</p>	<p>&lt;樹幹注入&gt; (冬)</p> <p>健全なマツの樹体内での線虫の増殖を防ぐため、樹幹注入剤を施用</p>	<p>翌年の春までに実施</p>	

注1) 発生メカニズムについて、被害の発生時期などは地域の気候等によって異なるため、おおよその季節を記載している。

注2) 「カミキリ」とは「マツノマダラカミキリ」を、「線虫」とは「マツノザイセンチュウ」のことをそれぞれ指す。

## 県内で実施している主な防除

方法	内容	特徴	備考
伐倒くん蒸	被害木を伐倒、集積してビニール被覆のうえNCS(農薬)でくん蒸して殺虫	殺虫率が高い	密閉が不十分だと殺虫効果が低下
運搬破碎	被害木を伐倒・運搬して、チップ工場で厚15mm以下に破碎	利用促進、景観保全	林内から搬出可能な被害木に限定
予防散布	カミキリ成虫の羽化脱出前に殺虫剤を葉面に散布し、後食したカミキリを殺虫	広範囲を守る効果は絶大	住民の理解が必須 守りたいマツ林で実施
樹幹注入	健全なマツにマツノザイセンチュウが増殖できない薬剤を注入	最長7年間発病を抑えることが可能	高価 国庫補助を用いる場合、対象木が天然記念物や文化財等の要件あり

### 【駆除・防除方法写真】



伐倒くん蒸



運搬破碎



予防散布  
(空中・地上)



樹幹注入



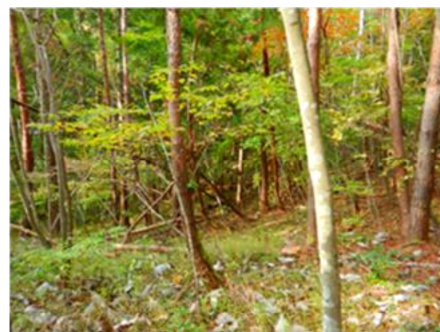
### 3 松くい虫等防除事業といわて環境の森整備事業について

事業区分			経費負担率			事業内容
			国	県	市町村	
森林病虫害等防除事業	命令防除	大臣命令	10/10	—	—	特別伐倒駆除、伐倒駆除、補完伐倒駆除、樹幹注入、特別防除、地上散布
		知事命令	1/2	1/2	—	特別伐倒駆除、伐倒駆除、補完伐倒駆除、樹幹注入、特別防除、地上散布
	奨励防除		1/2	1/4	1/4	特別伐倒駆除、伐倒駆除、補完伐倒駆除、樹幹注入、特別防除、地上散布
	県単独事業		—	3/4	1/4	伐倒駆除
森林整備事業			1/2	1/4	1/4	衛生伐
			5/10	2/10	3/10	樹種転換（人工造林、更新伐）
いわて環境の森整備事業	アカマツ林広葉樹林化		—	10/10	—	アカマツ林の広葉樹林化（公益林、私有林に限る）
	被害森林再生		—	10/10	—	気象災害による被害木の除去（公益林、私有林に限る）
	枯死木除去		—	10/10	—	松くい虫及びビナラ枯れ被害による枯死経過木の除去（私有林に限る）

## いわて環境の森整備事業 (アカマツ林広葉樹林化)

松くい虫被害が発生している地域のアカマツ林において、広葉樹林への更新や修景化を図るため、枯死木を含むアカマツ林の伐倒・集積に補助しています。

松くい虫被害拡大防止のため、『いわて環境の森整備事業（アカマツ林広葉樹林化）』をぜひ御利用ください。



実施前



実施後

- (1) 対象範囲  
防除監視帯及び松くい虫被害が発生している地域
- (2) 事業主体  
市町村、林業事業者等（森林整備事業請負契約等指名競争入札参加者名簿または岩手県意欲と能力のある林業経営体に登録されている事業者のうち松くい虫防除技術専門員が所属する事業者）
- (3) 補助対象経費  
伐倒、枝払い、玉切り、集積
- (4) 補助率  
10/10（ただし、別に定める額を上限とする。）
- (5) 対象林齢  
4～12齢級（原則）
- (6) 条件等
  - ・面積は0.1ha以上必要。
  - ・5年間の転用制限があります。
  - ・「松くい虫被害対策としてのアカマツ伐採実施指針」及び「松くい虫被害木等の利用駆除ガイドライン」を遵守してください。

事業の御相談などのお問い合わせは、予定地を所管する広域振興局・農林振興センターの森林保護担当までお願いします。



## いわて環境の森整備事業（混交林誘導伐）を実施した施工地におけるアカマツ林広葉樹林化の実施について

### 【要旨】

過去にいわて環境の森整備事業（混交林誘導伐）を実施した施工地において、混交林誘導伐の実施から10年以上が経過し、施工地を含む周辺地域で松くい虫被害のまん延が進んでしまったことにより、森林の有する公益的機能の確保が難しくなっている事例が発生しています。

このような施工地については、今後、公益的機能の回復及び松くい虫被害の拡大防止を図るため、いわて環境の森整備事業（アカマツ林広葉樹林化）による樹種転換を行うこととしたいと考えています。

このことについて委員の御所見を伺えればと存じます。

### 1 背景

平成18、20年度に、紫波町内のいわて環境の森整備事業（混交林誘導伐）を実施した施工地においては、施工地を含む周辺地域で松くい虫被害のまん延が進んでしまったことに加え、枯死木が道路等に倒木するおそれがあるなど、森林の有する公益的機能の確保が難しくなっている。

森林所有者からは、森林の有する公益的機能を回復させるため、アカマツ林広葉樹林化を活用して、枯死木を含むアカマツ林を伐倒し、広葉樹林への樹種転換を行いたいとの相談を受けていることから、アカマツ林広葉樹林化の実施に際しての考え方を整理するもの。

### 2 アカマツ広葉樹林化の実施に係る考え方について

#### （1）いわての森林づくり県民税条例（以下「条例」という。）との整合性について

条例では、県民税を森林環境の保全に関する施策に要する費用に充てるものとされており、県では、いわて環境の森整備事業を実施することとしています。

当該森林は、混交林誘導伐の実施から10年以上が経過し、施工地を含む周辺地域で松くい虫被害のまん延が進んでしまったこと等により、森林の有する公益的機能の確保が難しくなっていることから、アカマツ林広葉樹林化により公益的機能の回復を図り、森林環境を保全するものであり、条例との整合性が図られているものです。

#### （2）同じ施工地に2回県民税事業を投入することについて

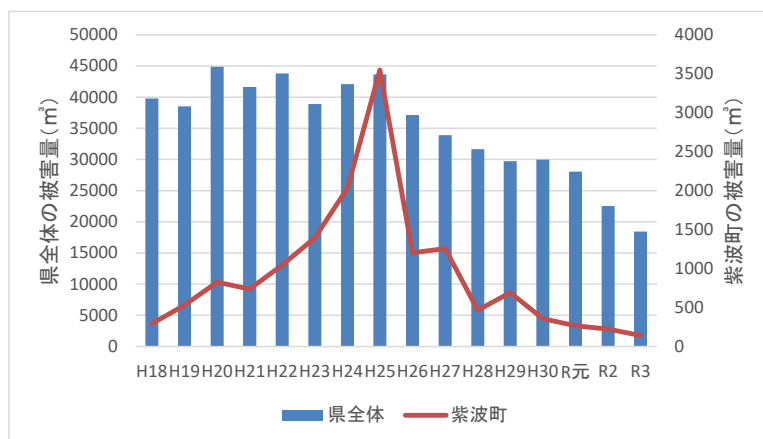
アカマツ林広葉樹林化は、松くい虫被害を受けた森林を広葉樹林へ樹種転換することにより、公益的機能の回復を図ることを目的とした事業であり、強度間伐により森林の公益的機能の維持増進を図ることを目的とした混交林誘導伐とは事業内容が異なるほか、アカマツ林広葉樹林化の事業を実施することで森林環境の保全につながることから、県民税を再度投入することはやむを得ないものと考えております。

### 3 対応案について

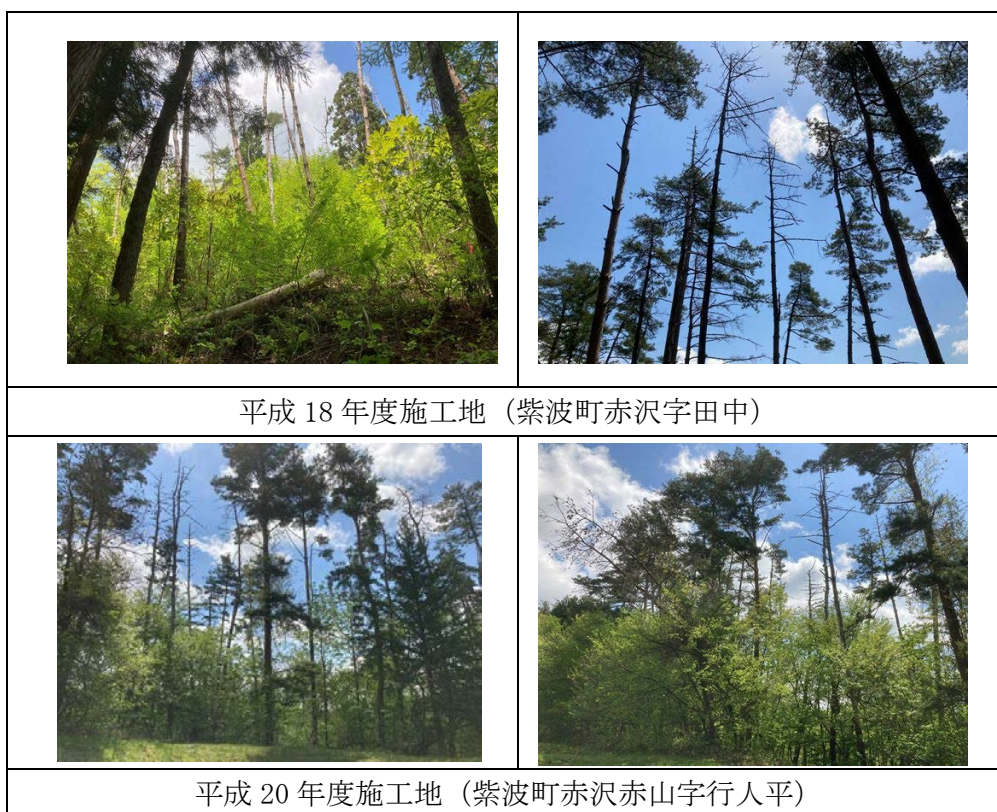
以上を踏まえ、過去にいわて環境の森整備事業（混交林誘導伐）を実施した当該施工地において、松くい虫被害のまん延が進み、公益的機能の回復や被害まん延防止のための対策が必要と認められる場合は、今後、同様の案件を含めアカマツ林広葉樹林化を実施することとしたいものです。



施工地の位置図



平成 18 年度以降の県全体と紫波町内の被害量の推移



平成 18 年度施工地 (紫波町赤沢字田中)

平成 20 年度施工地 (紫波町赤沢赤山字行人平)

現在の施工地の状況

## いわて環境の森整備事業「混交林誘導伐」施工地について

### 1 事業趣旨

森林の公益的機能の維持増進を図るため、林内へ光を入れ、下草や広葉樹の進入を促進し、針葉樹と広葉樹の混交林への誘導を目的とし、強度の間伐（本数率で概ね50%以上）を実施したものの。

### 2 施工地の概要

- (1) 森林の所在 紫波町赤沢赤山字行人平 地内
- (2) 事業主体 岩手県（盛岡地方振興局）
- (3) 事業年度 平成20年度
- (4) 整備内容 1.30ha（スギ0.28ha、アカマツ1.02ha）
- (5) 工期 平成20年11月11日～平成21年3月15日
- (6) 森林所有形態 個人
- (7) 施工前の林分状況

- ・アカマツ及びスギの50年生
- ・林分は暗く込み合った状態



### (8) 現在の林分状況

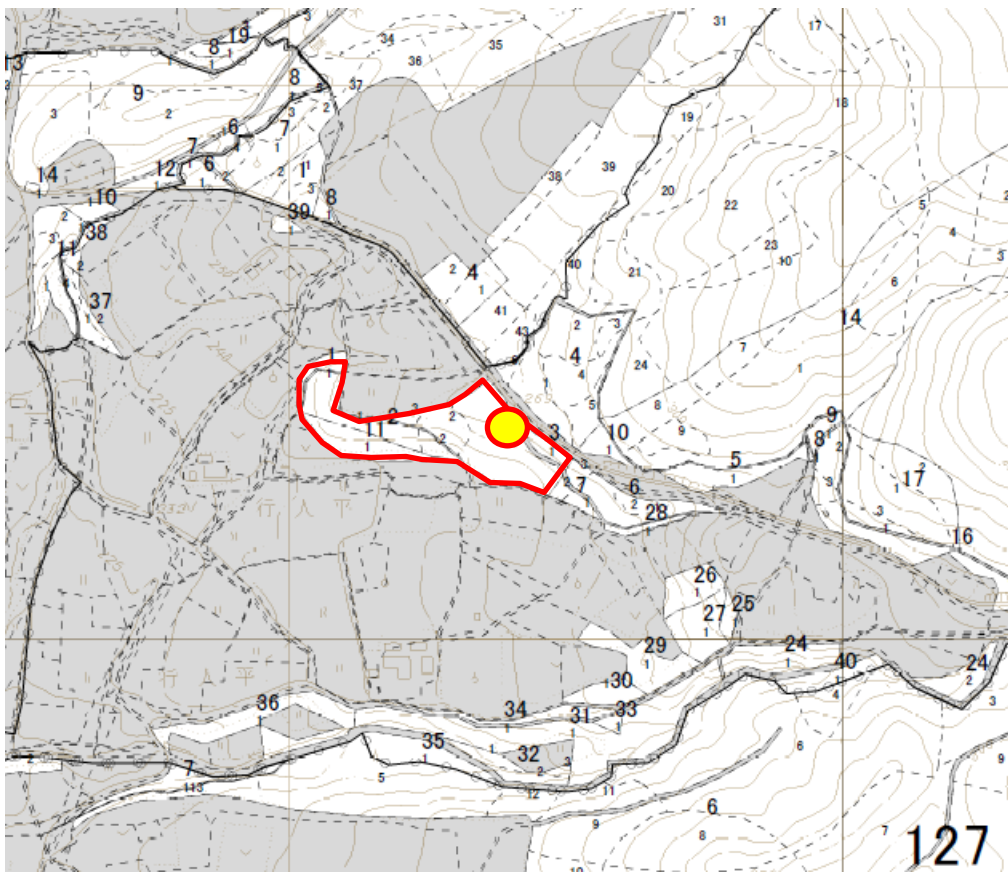
- ・広葉樹が進入
- ・林内は明るくなっている
- ・アカマツは松くい虫被害を受けている







松くい虫被害の状況





令和4年度いわての森林づくり推進事業の取組状況について

令和4年度 事業内容

区分	事業名 [担当課]	事業内容	計画数量等	取組状況 (10月末現在)	今後 (令和4年度) の取組等
環境重視の森林づくり	(1) いわて環境の森整備事業 [林業振興課・森林整備課]	森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、針葉樹と広葉樹の混交林化を進める強度間伐や伐採跡地への植栽のほか、新たに公益上重要な森林の整備に必要な作業道の開設や気象被害を受けた森林の整備等を支援	混交林誘導伐 600ha 森林作業道整備 3,000m ナラ林健全化 70ha アカマツ広葉樹林化 31ha 被害森林再生 5ha 枯死木除去 75 m <sup>2</sup> 森林環境再生造林 150ha	<p>これまでに「いわて環境の森整備事業」に係る施工地審査を7回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>混交林誘導伐：確保面積 248.57ha (進捗率 41.4%)</li> <li>森林作業道整備：0m (進捗率 0%)</li> </ul> <p>※7月下旬に林業事業体を対象としたブロック説明会を4地区で開催。混交林誘導伐と森林作業道について活用の働きかけを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ナラ林健全化：確保面積 38.53ha (進捗率 55%)</li> <li>アカマツ広葉樹林化：確保面積 75.0ha (進捗率 242%)</li> <li>被害森林再生：確保面積 0ha (進捗率 0%)</li> <li>枯死木除去：確保材積 139 m<sup>3</sup> (進捗率 186%)</li> <li>森林環境再生造林：166.97 haで事業実施中 (進捗率 111%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>混交林誘導伐、森林作業道整備 振興局に対し、更なる掘起こしを行っていく。また、森林所有者からの問い合わせが一定数あることから、事業化に繋げていく。 森林作業道整備は、昨年度承認された釜石市内での開設が着工。</li> <li>アカマツ林広葉樹林化、枯死木除去 令和5年6月の「第73回全国植樹祭いわて2023」開催を控え、会場へのアクセス道路沿いの枯死木等について、森林環境の保全を図るための修景化の取組を実施する。</li> <li>ナラ林健全化、アカマツ林広葉樹林化、被害森林再生、枯死木除去 施工地面積の採択要件の緩和(ナラ林健全化、アカマツ林広葉樹林化：1施工地0.1ha以上)や補助対象経費の追加(枯死木除去：運搬経費)等を行ったことについて周知する。</li> </ul> <p><b>森林環境再生造林</b> 令和4年度事業の完了に向けた進捗管理を行うとともに、令和5年度春植栽分の早期実施に向け、施工地の審査を進める。 [植栽 200ha、下刈 450ha]</p>
		<p>【アカマツ林広葉樹林化】(奥州市)</p>  <p>整備前                      整備後</p> <p>【枯死木除去】(山田町)</p>  <p>施業前                      施業後</p> <p>【森林環境再生造林】(岩泉町)</p>  <p>整備前                      整備後                      植栽木</p>			



区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	計画数量等	取組状況（10月末現在）	今後（令和4年度）の取組等	
	(2) 花粉症対策等採種園整備事業 〔森林整備課〕	花粉の少ない森林への転換を促進するため、花粉の少ないスギ等の苗木の安定供給に必要な採種園の整備を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>花粉症対策スギミニチュア採種園造成 1.5ha</li> <li>カラマツ採種園造成 1.0ha (岩手県林業技術センター林木育種場内)</li> </ul> <p>[花粉症対策スギミニチュア採種園 5.9ha/5年] [カラマツ採種園 4.2ha/5年]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花粉症対策スギミニチュア採種園造成 植栽0.5haは完了。<u>整地・施肥1.0haと旧スギ採種園の伐採等1.5haは施工中。</u></li> <li>カラマツ採種園 <u>整地・施肥1.0haと旧アカマツ採種園の伐採等1.0haは施工中。</u></li> </ul>  <p>少花粉スギ植栽（奥州市）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花粉症対策スギミニチュア採種園造成 整地・施肥1.0haはR4.11月までに、旧スギ採種園の伐採等1.5haはR5.3月までに完了予定。</li> <li>カラマツ採種園 整地・施肥1.0haはR4.11月までに、旧アカマツ採種園の伐採等1.0haはR5.3月までに完了予定。</li> </ul>	
	(3) 林野火災予防対策事業費 〔森林整備課〕	林野火災から県民共通の財産である森林を守るため、初期消火活動に必要な資機材の整備や、林野火災を未然に防ぐための広報宣伝活動を行うとともに、地域で取り組む防火活動を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオCM放送 93回（4,5,3月）</li> <li>テレビCM放送 84回（4,5,3月）</li> <li>ユーチューブCM配信 75,000回（4,5,3月）</li> <li>セスナによる予防宣伝活動 11日間（5月）</li> <li>ボランティアによる山火事パトロール支援（奥州地区）：60セット（帽子、ブルゾン、マグネットシート）</li> <li>路網マップ整備※ 1式 ※消火活動に活用可能な林道、作業道等を調査し、地図上に記載したもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオCM放送 4～5月 66回</li> <li>テレビCM放送 4～5月 48回（民放4社）</li> <li>ユーチューブCM配信 4～5月 閲覧数 約168千回</li> <li>セスナによる予防宣伝活動 4/24～5/8の土日祝日等 計11日間（33時間）実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオCM放送 27回（3月）</li> <li>テレビCM放送 36回（3月）</li> <li>ソーシャルメディアによるCM広報（3月）</li> <li>（県南広域振興局林務部）</li> <li>ボランティア活動支援 11月から支援物品（帽子等）の製作を行い、2月に配付予定。（沿岸広域振興局農林部）</li> <li>路網マップ整備 8月から釜石地方森組に路網マップの製作を委託。製作場所は箱崎半島（釜石市）で、現在は路網の現地調査中。2月に開催される釜石地区山火事防止対策推進協議会において構成員である消防、市町等にマップを配付予定。</li> </ul>	
		 <p>山火事防止テレビCM</p>	 <p>山火事防止CMユーチューブ配信</p>	 <p>セスナによる宣伝広報活動</p>	 <p>ボランティア支援 (イメージ R3.8月作成)</p>	 <p>路網マップ（釜石地区） (イメージ R4.1月作成)</p>



区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	計画数量等	取組状況（10月末現在）	今後（令和4年度）の取組等
森林との共生	(4)-① 県民参加の森林づくり促進事業 〔林業振興課〕	県民の森林づくりへの理解の醸成と積極的な参画の促進を図るため、地域住民や団体等が主体的に取り組む森林整備活動等を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備活動 10 団体</li> <li>森林の整備を行う多様な人材育成 10 団体</li> <li>森林環境学習 20 団体</li> <li>県産材利用促進 5 団体</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 45 団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次募集まで実施し、現在、32 団体が採択</li> </ul>  <p style="text-align: center;">森林整備事業（くじらラボ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施団体への指導・助言などを行いながら事業を進捗管理</li> <li>3次募集については、要望がなかったことから行わないこととする。</li> </ul>  <p style="text-align: center;">森林整備・環境学習（遠野エコネット）</p>
	(4)-② 森林・山村多面的機能発揮対策事業 〔森林整備課〕	森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林所有者や地域住民が共同で行う森林の保全活動や山村地域の活性化などの取組を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山林整備、路網の補修活動等 84 団体</li> <li>里山林整備 756ha</li> <li>森林資源利用 219ha</li> <li>路網の補修活動 2,664m</li> </ul> <p>※「県民参加の森林づくり促進事業」の一部に位置付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月7日に補助金交付決定（85 団体）</li> </ul>   <p style="text-align: center;">土淵山の会（遠野市）薪づくり活動      Wood Job 遠野（遠野市）保全活動</p>	<p>年度内の早期完成に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里山林整備（774ha） 集落周辺の里山林を維持するための整備活動等</li> <li>森林資源利用（219ha） しいたけ原木等に活用することを目的とした伐採、搬出等</li> <li>路網の補修活動（2,664m） 里山整備、森林資源利用と併せて実施</li> </ul> <p>里山林の整備等を促進するため、新規活動組織の掘り起こしに取り組む。</p> <p>※活動組織が実施する取組を支援するため、市町村、関係団体等により構成される「いわて里山再生地域協議会」を通じて団体に交付</p>
	(5) 「木育の推進等につながる県産木材活用」の取組 〔県庁各部署〕	県民向け施設等への県産木材利用を促進することにより、木育の推進につながる木材利用や普及啓発強化を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>いわて子どもの森（木柵整備）、県立美術館（スタジオワークショップ用木製椅子）、県内保育所・児童館等（木製品）への木製品の導入補助 など 11 事業を実施予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>釜石祥雲支援学校（書架、テーブル、イス等）、花巻空港（木製パーテーション）については完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォローアップとして実際に導入した施設等で管理者や利用者から木育や県産材利用についてのヒアリングを実施し、県民税を活用した木育や普及啓発の取組として情報を発信。</li> <li>R5 年度当初予算に向けた庁内公募を実施</li> </ul>
令和3年度整備実績		<p style="text-align: center;">うちまる保育園</p>  <p style="text-align: center;">木製玩具</p>	<p style="text-align: center;">いわて子どもの森</p>  <p style="text-align: center;">木製遊具</p>	<p style="text-align: center;">アイーナ</p>  <p style="text-align: center;">木製ワゴン</p>	



区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	計画数量等	取組状況（10月末現在）	今後（令和4年度）の取組等
	(6) いわて森の ゼミナール 推進事業 〔森林整備課〕	森林・林業に対する理解の醸成を図るため、児童生徒をはじめ、広く県民の方々を対象として、森林・林業に関して学習する機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境学習会 25回 (小学生を対象とした樹木・自然観察、木工工作等)</li> <li>森林環境学習指導者研修会（NPO等に委託）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託契約締結（5/18）</li> <li>森林環境学習会：24回実施（進捗率96%）</li> <li>森林環境学習指導者研修会（7/25）</li> <li>情報交換会（11/23）</li> </ul>   <p>森林学習会（九戸村山根小学校） 森林環境学習指導者研修会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境学習会（28回） 小中学校や各種団体等における樹木観察会や木工・クラフト体験等の取組に対し、森林インストラクター等の講師派遣を実施</li> <li>森林環境学習指導者研修会（指導者研修、情報交換会） 森林環境学習などを実践するリーダーのスキルアップを図る指導者研修と情報交換会を実施</li> </ul> <p>※いわて森のゼミナールの運営については、NPO等に企画コンペにより委託</p>
	(7) 森林公園機能強化事業 〔森林保全課〕	広く県民の森林・林業に対する理解の醸成を図るため、森林環境教育の拠点施設である森林公園の機能強化を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の森（八幡平市） <ul style="list-style-type: none"> <li>R3 繰越 木質資源活用施設（チップボイラー）、遊歩道整備 501m等</li> <li>R4 当初 木育スペース整備 映像展示整備</li> </ul> </li> <li>滝沢森林公園（滝沢市） <ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道整備 326m</li> <li>案内板整備 2基 等</li> </ul> </li> <li>千貫石森林公園（金ケ崎町） <ul style="list-style-type: none"> <li>木育スペース整備</li> <li>案内板整備 3基 等</li> </ul> </li> <li>大窪山森林公園（大船渡市） <ul style="list-style-type: none"> <li>トイレ洋式化 3基</li> <li>案内板整備 1基 等</li> </ul> </li> <li>折爪岳森林公園（二戸市） <ul style="list-style-type: none"> <li>R3 繰越 遊歩道整備（木橋 5基）</li> <li>R4 当初 木育スペース整備 トイレ洋式化 3基 等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の森 <ul style="list-style-type: none"> <li>木質資源活用施設（チップボイラー）（12月末完了予定）</li> <li>遊歩道整備 501m、ウッドデッキ 1基、転落防止柵 185m、標識等整備 5基（完了）</li> <li>木育スペース整備（11月末完了予定）</li> <li>映像展示設備（3月末完了予定）</li> </ul> </li> <li>滝沢森林公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道整備 313m、案内板整備 2基等（3月完了予定）</li> </ul> </li> <li>千貫石森林公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>木育スペース整備（完了）</li> <li>案内板整備 3基等（1月完了予定）</li> </ul> </li> <li>大窪山森林公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>トイレ洋式化 3基、案内板整備 2基等（11月完了予定）</li> </ul> </li> <li>折爪岳森林公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道整備（木橋 5基）（完了）</li> <li>木育スペース整備（完了）</li> <li>トイレ洋式化 3基、標識整備 5基等（12月完了予定）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の森 <ul style="list-style-type: none"> <li>木質資源活用施設（チップボイラー）、木育スペース整備、映像展示設備</li> </ul> </li> <li>滝沢森林公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道整備、駐車場舗装、案内板整備、標識等整備、ベンチ設置</li> </ul> </li> <li>千貫石森林公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>案内板整備、標識等設置、ベンチ設置、森林整備</li> </ul> </li> <li>大窪山森林公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>トイレ洋式化、案内板整備、標識等整備、ベンチ設置</li> </ul> </li> <li>折爪岳森林公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>トイレ洋式化、標識等整備、ベンチ設置</li> </ul> </li> </ul> <p>施設完成後において、お披露目イベント等を開催（千貫石森林公園 10/4、折爪岳森林公園 11/9）するなど、積極的な情報発信を行い、公園利用者の増加と、県民税のPRに努める。</p>
		 <p>案内看板設置</p>	<p>県民の森（八幡平市）</p>  <p>遊歩道整備（ウッドチップ舗装）</p>	 <p>ウッドデッキ設置</p>	<p>千貫石森林公園（金ケ崎町）</p>   <p>木育スペース（10/4 お披露目会：IBC じゃじゃじゃ TV 取材）</p>



区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	計画数量等	取組状況（10月末現在）	今後（令和4年度）の取組等
	(8) 全国植樹祭 開催準備 〔全国植樹祭 推進室〕	全国植樹祭の開催（令和5年）に向け、様々な機運醸成の取組を通じて森林の役割や重要性、県民税の趣旨や取組をPRしながら、開催準備を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信（公式HPの運営、1年前記念イベントの開催、県内イベントでのPR）</li> <li>・木製地球儀リレーの実施 全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」を県内全市町村で巡回展示</li> <li>・県内児童等による苗木の育成（苗木のスクールステイ） 苗木の贈呈の際に、森林環境学習を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 全国植樹祭公式HP及びTwitterを活用し、県民税の取組を周知</li> <li>➢ 広報誌『緑のかけはし そばっち通信』第2号及び第3号を発行 1年前記念イベント記念式典での配布を始め、関係各所に配布し県民税を活用し開催準備を進めていることを周知</li> </ul> </li> <li>・木製地球儀リレー 1年前記念イベント（7/9）で出発式を実施 10月末までに18市町村で木製地球儀を展示することにより、森林・林業に対する県民の関心を喚起</li> <li>・苗木のスクールステイ 54団体・学校で1,404名が参加し苗木の育成を実施併せて森林環境学習を行い、児童等に対し本県の森林の特徴や重要性等について普及啓発を実施</li> </ul>	<p>以下の取組を通じ、<u>県民税の普及啓発や岩手県の森林・林業の役割・重要性を情報発信する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全県的な機運醸成の取組の推進 県内イベントを通じたPR、木製地球儀リレーの実施、苗木のスクールステイ等を着実に実施</li> <li>・開催準備の着実な実施 「お野立所」の建築、木製品の制作（ベンチ、プランターカバー）、岩手県の森林・林業の紹介映像作成等）</li> <li>・200日前カウントダウンイベント 県産広葉樹材を使用し、県民税マークを掲示したカウントダウンボードを、県庁及び3か所のサテライト会場予定地に設置。<u>県民税を活用し開催準備を進めていることを周知し、県民税や「木づかい」に関する県民の関心を喚起</u></li> </ul>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="308 785 1092 1318"> <p>【全国植樹祭公式ホームページでのPR】</p>  <p>いわての森林づくり県民税をPR</p> </div> <div data-bbox="1092 785 1697 1318"> <p>【木製地球儀リレー】</p>  <p>木製地球儀 引渡しセレモニー（野田村）</p> </div> <div data-bbox="1697 785 2822 1318"> <p>【苗木のスクールステイを通じた森林環境学習】</p>  <p>苗木の贈呈（宮古市） 森林環境学習（花巻市）</p> </div> </div>					
	(9) いわて森林 づくり推進 人材育成事業 〔森林整備課〕	地域における森林整備活動を推進するため、専門知識と技術を有し、地域に根ざして関係者の合意形成等を図る人材を育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直営研修 8回 森林づくりに係る実践研修、安全講習、コミュニケーション研修等</li> <li>・派遣研修 4回 地域林政アドバイザー養成研修、チェーンソー特別教育等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託契約締結（5/17）</li> <li>・新規受講者15名（募集14名）、継続受講者10名 新規受講者15名が年度内に直営研修分を修了する見込。前年度からの継続受講者10名が、すべての研修課程を修了し、いわて森林づくりコーディネーターとして認定される見込</li> <li>・直営研修8回（進捗率100%）、派遣研修4回（進捗率100%）</li> </ul>   <p>更新樹種の確認（遠野市） 森林づくり活動実践研修（矢巾町）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわて森林づくりコーディネーターの育成 地域の森林整備活動の核となる者を対象に研修を実施 〔新規受講者15名、継続受講者10名〕</li> <li>・直営研修（8回） 森林づくりに係る実践研修、安全講習、コミュニケーション研修等</li> <li>・派遣研修（4回） 地域アドバイザー養成研修、チェーンソー特別教育等</li> <li>・安全装具貸与（1式） ヘルメット、雨具、チャップス、防護ブーツ</li> </ul> <p>※当該研修の運営業務を企画コンペにより県森連に委託</p>

区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	計画数量等	取組状況（10月末現在）	今後（令和4年度）の取組等
	(10) いわたの森林づくり普及啓発事 〔林業振興課〕	県民の森林づくりに係る関心を高めるとともに、県民税の認知度向上を図るため、森林・林業の役割や重要性のほか、いわての森林づくり県民税の趣旨や取組等について、 <b>県民に対して多様な手法で情報を発信</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いわての森林づくり県民税」啓発チラシ作成委託 森林所有者向け 6,000 部 一般県民向け 4,000 部</li> <li>・森林環境学習パンフレットの増刷 12,000 部</li> <li>・県民税 PR シールの増刷 1,000 枚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国植樹祭一年前イベント（7/9 八幡平市）のほか、10月に県内各地で開催したイベントにて県民税認知度に係るアンケート調査を実施。</li> <li>・各市町村あてにいわての森林づくり県民税に関する広報の実施を依頼。</li> <li>・<u>県民税公式 SNS（Twitter・Instagram）による情報発信。</u></li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>林業振興課展示ブース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>県産木材を用いた玩具の展示</p> </div> </div>	<p><u>県民税の認知度（R3：42.5%）の向上が課題。</u></p> <p>令和3年度から新たに取り組んでいる県産木材活用や森林公園機能強化などの取組の周知と併せ、全国植樹祭関連のイベントや広告等を通じて、「いわての森林づくり県民税」を情報発信。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発チラシの作成・配布</li> <li>・県内小学校等へ学習ガイドブックの配布</li> <li>・<u>庁内公募実施施設利用者を対象に木育に関するアンケート調査を実施（11～12月）。</u></li> </ul>